

国際サーカス村通信	VOL.16 N003	2011年 12月 28日 (水)
		文責 西田 敬一
編集NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	mura@circus-mura.net	http://www.circus-mura.net

● 休校後の道

2011年12月23日、24日、サーカス学校開校11年目前期、通算21回目の発表会が、サーカス学校の練習場、旧沢入小学校の体育館で行われた。石油ストーブしかない体育館はかなりの寒さなのだが、今回も140人近くのお客様が集まってくださった。地元以外から、毎回来てくださる方、岐阜から足を伸ばしてくれた家族連れの方など、みんな、惜しめない拍手をしてくださった。



*

すでに、会報でお伝えした通り、この発表会后、冬休みに入り、そのまま2012年9月中旬まで、休校となる。ここみどり市もフクシマ第一原発事故による放射能汚染がひどく、除染地域に指定されたが、その除染はまだできていない。

地元の小・中学校は休校していないが、沢入国際サーカス学校は学校法人ではないので、この間、非科学的ともいえる数値で“安全”、“いますぐ健康に被害はない”といった無責任極まりない情報で、人々を欺いてきた文科省のたわ言を聴く必要はなく、自分たちで状況判断してもお叱りをうけることはないが、「事を荒立てている」という批判が聞こえてこないわけではない。

しかしそれでいいのだろうか、というのが率直な思いである。この放射能による身体への影響は、今すぐ出てくるものではないと言われているが、だからといって、いつか顔をだすかもしれない身体への影響を、最小限にするためにとる行動、手立てに対して、それを止めることはできないと思う。ぼくらはその道を選んだ。必要なことは、それぞれがそれぞれの立場で、この被害を最小限なものとするために努力し、自治体に働きかける。そうした被害を、今も与えている東電、政府に対して、その責任の所在を明確にさせるために、みんなが声をあげるべきではないだろうか。このような考えで、とりあえず、後期の授業期間を休校とする決意をしたのである。

今後は、まずは放射能除染結果を見て、できるならば2012年9月には、サーカス学校の再開を考えたい。

*

発表会で、休校を伝えなければならないスピーチは、正直、辛いものであった。お客様は、しずかにスピーチを聞いてくださり、うなずいていらっしゃる方も一人二人ではなかったが、現在いる生徒たち、研究生たちの今後を考えると、申し訳ない気持ちを拭い去ることはできなかった。休校に伴う事務処理、雑事も重くのしかかっていた。

発表会後の打上げで、2012年9月学校が再開できれば、在校生はみんな帰って来ると語ってくれたのだが、それがまた、僕の胸に響いた。半年間の休校のあいだも、なんらかの活動を行うことで、生徒たち、多くの人々にサーカス学校が立ち止まっていないことを伝えなければと自分に言い聞かせた。

卒業後も研究生で残っている田中健太君が、2012年7月に、集まれる卒業生、在校生で、

このサーカス学校の体育館で、ショーをやりたいという提案があった。この学校を巣立っていったパフォーマー、在校生は、一人を除けば、皆、県外である。沢入へ来るには、かなりの交通費を必要とする者もいる。果たして、どれだけのメンバーが集まるかわからないが、可能性を探りたいと考えている。

● 沢入国際サーカス学校平成 22 年度前期発表会

<p>高村篤 (講師) ジャグリング</p> 	<p>田中健太 (研究生) シガーボックス</p> 	<p>末廣祥久 (研究生) 座布団ジャグリング</p> 	<p>渡邊翼 (研究生) ディアボロ</p> 
<p>目黒有沙 (4年生/今期卒業) コントーション</p> 	<p>飯田有美子 (3年生) 空中リング</p> 	<p>長岡岳大 (2年生) ボールジャグリング</p> 	<p>永田明子 (2年生) 玉乗り、ジャグリング</p> 
<p>石黒大智 (体験入学中) リングジャグリング</p> 	<p>サクノキ (卒業生) ハット・スタッフ・キューブ</p> 	<p>Naoto (中途卒業) ヨーヨー</p> 	



今回の発表会では、ゲストを含めた 11 名が、日ごろの練習の成果を披露しました。発表会で披露するような、自らが製作したパフォーマンスを、私たちは”作品”と呼んでいます。作品づくりは、生徒たち各々が行っています。難度の高い技を身につけることはもちろん、技と技をつなげて音楽に合わせ、お客さんにどう見せるかという表現力も含まれます。そういった力も、発表会を重ねるごとに上がってきていると感じさせてくれました。

そして、今発表会をもち、目黒有沙さん（コントーション）が卒業しました。今後はカナダのサーカス学校に入り、さらに表現力をつけ、技を磨くそうです。ご自身が描いているアーティストになれる日が来るよう願っております。

ご卒業おめでとうございます。（長屋あゆみ）

● “道化師と大道芸人の旅”

休校中の活動のひとつとして考えているのが、4月、5月の2ヶ月間、主に九州・四国への旅、巡業である。この旅には、カンボジア、バタンバンにある NGO 組織 PPS のサーカス学校へ沢入サーカス学校の生徒たちと一緒にいき、現地でパントマイムのワークショップを行い、ショーも行ったふくろうじ氏と、サーカス学校卒業生で、サーカス学校でジャグリングの講師を務め、ショーの演出も行っている高村篤、現在難度の高い業を習得中の田中健太両名に僕をいれた、4名のメンバーが、ワゴン車一台で出かけることになる。現在、公演場所がいくつも決まっているわけではないので、どのような旅になるか、今はまだ、未確定な部分が多いが、とりあえずは、静岡、京都、山口で、可能ならばふくろうじ氏の『出口あり』の舞台公演と、高村・田中両名の大道芸などを行い、4月10日頃、福岡入りと考えている。鹿児島には、サーカス学校卒業のクラウン・ペペこと福田秀寛氏



がいるので、ぜひとも彼と再会し、一緒にショーを行いたいと考えている。

九州、四国方面で、ここでショーができるぞ、大道芸が OK という場所を知っている方がいらっしゃれば、ぜひ、ご一報を。もちろん、劇場公演、大道芸をプロデュースくださる方をご紹介いただければ、幸甚の至りです。

次回会報には、どこで、どんなショーができるかスケジュールを掲載したいと考えているので、よろしくお願ひします。

なお、ツアーには、写真のワゴン車で走る。バックには『原発はいらない!』『がんばれ日本』の文字が踊っているので、すぐ目に付くのでは。気が付いたらぜひ声をかけてください。

●ものみな歌でおわる パントマイム&ジャグリングバージョン

両国のシアターXで、花田清輝作「ものみな歌でおわる」を、パントマイミストとジャグラーに協力いただき、作品化したが、さて、どんな出来になるだろうか。正直、まったく自信なし。なにしろ、これまで多くの演出家がこの作品にチャレンジしているが、ほぼコケているようだ。そんな手を出したくない作品をいじるなど無謀極まりないではないか。

でも、演る以上は、ぜひ多くの人々に観ていただき、ご批判いただければと思います。別紙チラシをご参照ください。

最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

- 姫路公演 2011年12月23日(金)~2012年2月28日(火)
- 休演日;毎週木曜日と1月25日(水) ●電話;姫路公演事務局 079-282-0270
- 会場;姫路 大手前公園 特設会場

★ポップサーカス

- 高知公演 2011年12月10日(土)~2月12日(日)
- 休演日;毎週木曜日(12/29 除く)、12/30(金、)12/31(土)。
- 会場;イオンモール高知東隣特設大テント ●電話;高知公演事務局 088-875-4500

その他公演情報

★X カイレパトリー劇場 ネタ本・花田清輝

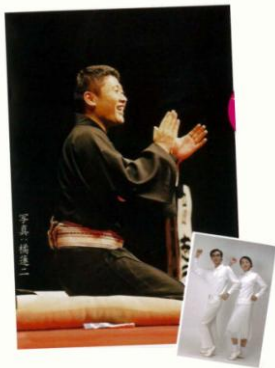
『ものみな歌でおわる パントマイム&ジャグリングバージョン』

- この作品の時代設定になっている1605年。名古屋山三郎は既に切り殺されていたという発見と、おくにを現代に蘇らせることこそが、この作品の精神ではないか。3・11以降の現代に、それは可能なのか。“成り下がる”ことこそ、これからの時代精神かもしれない(西田敬一)
- 構成・演出;西田敬一 ■出演者;京本千恵美、高村篤(沢入国際サーカス学校卒業生)
- 特別出演 ;小沢信男
- 2012年1月14日(土)・15日(日)とも14時開演
- 会場;シアターX カイ(JR 総武線両国駅西口より徒歩4分・地下鉄都営大江戸線両国駅A5出口より徒歩8分)
- お問い合わせ;シアターX カイ 03-5624-1181



★浅草 PERFORMER ショウケース 春色日和Ⅱ

- 立川志の春が、パフォーマーをゲストに迎えお届けする落語会。今回のゲストは、スイリッシュ、ノスタルジック、そしてクスツと笑わずにはいられないパントマイム劇場で見られる「シルヴプレ」。日本全国のみならず海外でも人気の二人と、志の春落語をお楽しみください。各回とも、お客様と出演者との雑談タイムあり!
- 2012年1月26日(木)13:30/19:30 開演
- 会場;アミューズミュージアム(浅草本堂東側、重要文化財『二天門』に隣接)
- お問い合わせ; 03-5806-1181



★パントマイム シルヴプレ 第八回公演 『みち草アンブゥ』

- 一つれづれなるままマイム愛。—
- 新作を中心とした、それぞれのソロも含む短編集オムニバス公演、の予定です。
- 2012年2月17日(金)、18日(土)15:00/19:30 開演
- 会場;Live Space Plan-B (中野富士見町)
- お問い合わせ・ご予約;ACC 03-3403-0561

